



平成 30 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 千 趣 会
 代表者名 代表取締役社長 星 野 裕 幸
 (コード番号: 8165 東証 第一部)
 問合せ先 取締役執行役員 経 営 企 画 担 当
 内 藤 剛 志
 (TEL 06-6881-3220)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 8 日に公表した平成 30 年 12 月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 1 月 1 日 ~ 平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	124,000	1,600	1,900	1,400	28.32
今 回 発 表 予 想 (B)	119,000	300	400	200	1.09
増 減 額 (B - A)	5,000	1,300	1,500	1,200	-
増 減 率 (%)	4.0	81.3	78.9	85.7	-
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 29 年 12 月 期)	125,999	4,287	4,206	11,090	213.16

2. 修正の理由

通信販売事業において中期経営計画に掲げておりました総合通販型から専門店集積型へのビジネスモデル転換にむけての体制変革、そのための販売チャネル戦略・販促施策の見直し及びMD(マーチャンダイジング)改革等を進めておりますが、各戦略や施策の遅れ、具体的にはEC強化のための新たな販促施策の遅れによる集客減少によるインテリアの不振やMD改革のうちの調達戦略の遅れによる衣料品の看板商品の在庫切れ等の発生により上期売上高が減少いたしました。通期の売上高につきましては、下期以降は新たに看板商品の販促強化・調達強化や販促施策の追加、また外部モールへの出店強化を実施し売上回復を目指すものの、上期戦略の遅れを取り戻すことができず、前回予想より 50 億円下回り 1,190 億円となる見通しです。

利益面におきましては、下期においても売上高減少に伴う利益率の減少及びバーゲン等による売上原価率上昇が見込まれております。そのため、下期より中期経営計画の推進を加速させ、その中でも型数削減、調達戦略の見直しにより売上総利益率を上期より 0.6%改善させるとともに、コスト削減を行い経営の効率化を図ってまいります。今期は営業利益 3 億円、経常利益 4 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 2 億円になる見通しです。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上